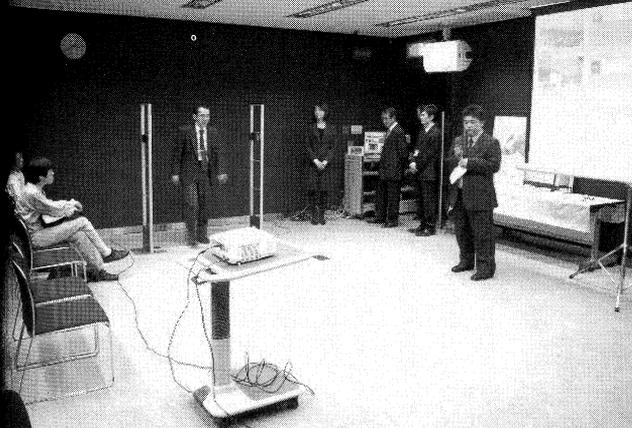


# 新世代の万引き防止システム

## 『iGate(アイゲート)』を発表

株三宅

ストアセキリティ機器メーカーの三宅(本社・広島市)は、2010年11月26日に東京の有楽町フォーラムにて、「万引防止セミナー&顔認証セキュリティゲート発表会」を実施した。万引き防止のスペシャリス



「iGate(アイゲート)」のデモンストレーションの様子。店舗での具体的な活用法を解説した

トによるディスプレイカッションと万引き防止システム「iGate(アイゲート)」のデモンストレーションを行い、小売業の防犯担当者や警備会社を中心に大勢の参加者が集まった。関心を集めた万引き防止システム「iGate(アイゲート)」を簡単に説明すると、店舗に設置した防犯ゲートを発報させた人物を高画質カメラで記録し、その中で不審者の情報を選別しデータベースに蓄積する。不審者が再来店した際には顔認識システムが自動的に作動し、警戒警報を発信することにある。

現在、小売業全般に設置されている防犯ゲートは、商品を持ち出す際に警戒音を鳴らす「事後通知型」だが、「iGate(アイゲート)」システムは未然に防ぐ「事前通知型」であることが大きな特徴だ。この発想は万引き常習者による被害で深刻な損失を被っている経営者と三宅の開発力が結合した産物といえる。

もともと三宅が販売している「カメラオンゲート」が、不審者の鮮明な画像を、至近距離から記録できる、業界初の防犯ゲートシステムであるが、それをさらに進化させて顔認識エンジンを搭載したのが「iGate(アイゲート)」だ。

今回、発表会のデモンストレーションでは、自動認識のスピードや認識能力などを飛び入りで実際に試す参加者も出て、熱心に見入っていた。「iGate(アイゲート)」システム導入により今まで困難とされた、店舗での販売員への注意喚起ができることにより、未然に防止行動を取ることが可能となる。また、保安警備員による万引き常習者の捕捉率が格段に向上することが見込まれるため、警備会社からも熱い視線が送られている。

もし、小売店が万引き常習者の顔を写真をデータベース化していることを知れば、絶大な犯罪抑止効果を発揮するだろう。小売業が悪質な万引き常習者を排除できれば、万引きによるロスが激減し、確実に利益率が上がるはずだ。「真の万引き対策」を実行する強力な防犯システムの登場に、期待がかかる。

「iGate(アイゲート)」の発表会に、小売業の防犯担当者や警備会社を中心に大勢の参加者が集まった



株三宅 セキュリティ事業部  
TEL 0120(17)53889  
http://www.miyake-sec.com/